

平成 26 年度 国有林モニター会議

平成 26 年 9 月 6 日（土曜日）に、国有林モニター会議を実施しました。

国有林モニター会議は、勉強会や意見交換会を通じて、国有林モニターの皆様に国有林の取組をご理解いただくとともに、国有林をより身近な存在として認識していただくことを目的に、平成 16 年度より毎年開催しています。

今年度は、国有林モニターの方々に事前に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、九州森林管理局内で、職員による国有林施策に関する説明会及び意見交換会を行いました。

● 開催概要

日時：平成 26 年 9 月 6 日（土曜日）13 時 00 分～16 時 00 分

開催場所：熊本県熊本市 九州森林管理局

出席者：国有林モニター 23 名 他 九州森林管理局職員

会議内容：1. 九州の国有林施策についての説明会
2. 意見交換会

1. 九州の国有林施策についての説明会

● 木づかいで森林を元気に！

世界有数の森林国でありながら、利用木材の多くを輸入に頼り、森林資源が使われないまま「森林の少子高齢化」をむかえている日本。健全な森林を維持するためには、木を植え、育て、収穫し、適材適所で木材を使うという適切なサイクルが必要です。今回は、「かるくて強い」「体に心地よい」「炭素を蓄える」などの木材の良さに触れながら、様々な木材利用事例を紹介し、木づかいの大切さについてスライドを用いて説明させていただきました。

● 九州の国有林について

事前に実施したアンケートでのご意見・ご質問にお答えする形で、国有林のしくみから九州での取組まで幅広く説明させていただきました。個人・企業・公的機関等有している「民有林」と異なり、「国有林」は国が直接管理している森林で、日本の森林の約 3 割を占めます。その大きな使命の一つに「森林・林業再生に向けた貢献」があり、九州では、「林業の低コスト化」「有害鳥獣への対応」「人材の育成」等様々な取組を、民有林を先導する形で進めていけるよう頑張っています。災害対応や自然環境保全等に幅広く取り組んでいますが、森林の保全や管理に注目して施策を進めるところが国土交通省や環境省との大きな違いです。



説明会の様子

2. 意見交換会

参加者の皆様からご質問・ご意見を伺い、企画調整課長から回答させていただきました。日頃から林業や地域の森林づくりに関わっていらっしゃる方も多く、九州各地での森林管理の活動や課題について伺うことができました。また、CLTや木質バイオマス等、近年局でも積極的に取り組んでいる事項への期待や提言もいただきました。例年より意見交換の時間を多く取ったにもかかわらず、時間内に収まらないほど活発な議論となりました。貴重なご意見をどうもありがとうございました。



意見交換会の様子



参加者の皆さんと記念撮影